

山形県中学校総合体育大会夏季大会 熱中症対応について

(水泳競技)

会場 山形市総合スポーツセンタープール

1 全体として実施すること

- (1) 近隣病院への緊急時の対応への依頼を行う。
- (2) 会場に養護教諭を配置し、体調不良者への応急処置ができる体制を整える。
- (3) 出場校に「熱中症事故防止について」の文書を配布し生徒への事前指導を行う。
- (4) 競技会場に、緊急用の氷、スポーツドリンク等を準備する。
- (5) 選手や役員の健康観察をこまめに行う。
- (6) 競技場の WBGT、温度、湿度を定期的に測定する。

2 状況に応じて競技ごと対応すること

- (1) 冷房の効く部屋を確保し、救護室や休憩場所に充てる。
- (2) 女子 800m 自由形、男子 1500m 自由形については、WBGT 31 以上または気温 35 以上、水温 33 以上を指している場合は、一時中止や日程の変更を検討する等、柔軟な対応を行う。
- (3) 選手には、レース直前や直後にも水分補給ができるよう、アリーナ内での飲料水の携行を許可する。また、具合が悪い場合は、招集所に行ってからでも、棄権を認めるようにする。
- (4) 小まめな水分及び塩分の補給について、随時放送等で呼びかける。
- (5) 選手、応援の方のプライベートテント設置エリアをそれぞれ確保し、積極的に活用を呼びかける。
- (6) 競技役員や補助役員にもこまめな水分・塩分の補給、着帽等を呼びかけ、30分以内で交代できるようにタイムテーブルを組む。
- (7) 氷のう、補水液、スポーツドリンクを常備する。
- (8) 山形県水泳連盟のホームページに、事前連絡や熱中症の予防について「中体連水泳専門部からのお知らせ」を掲載し、注意事項等を広くお知らせする。

3 変更の連絡について

- (1) 事前に変更が予想される場合は、県中総体参加校に「競技上の注意」を配布し周知を図る。
- (2) 具体的な内容や詳細や緊急の変更は、監督会議で連絡し周知を図る。
- (3) 状況に応じて「山形県中学校体育連盟ホームページ」に掲載する。

<http://www.cyutairen.jp>